

令和2年度東京ヘリポート不法侵入対応 及びハイジャック防止訓練（講習会）

令和2年11月26日（木）、警視庁、東京湾岸警察署及び東京港管理事務所主催で、「東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練」を実施しましたので、ご報告いたします。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは異なる形式・内容での実施となりました。概要及び訓練内容は以下のとおりです。

- 件 名 令和2年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練
- 日 時 令和2年11月26日（木）
 - 第1回（東京ヘリポート内事業者対象） 14時00分から14時40分
 - 第2回（管理事務所及び業務受託者対象） 14時50分から15時30分
- 場 所 東京ヘリポート管理事務所1階会議室
- 主 催 警視庁
東京湾岸警察署
東京港管理事務所
- 協 力 東京ヘリポート安全連絡協議会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学者を伴う機体を使用した実地訓練や、身体接触を伴うテロリスト制圧訓練は中止とし、警視庁から2名、東京湾岸警察署から4名を講師としてお招きした講習会を行いました。

講習会は会議室内の「3密」を防ぐため、同じ内容で2回に分け、換気のため扉は開放し、第1回は東京ヘリポート内事業者、第2回は管理事務所及び業務受託者を対象として実施しました。

第1回（東京ヘリポート内事業者対象）





第2回（管理事務所及び
業務受託者対象）



お話しいただいた警視庁の講師



前半は、「テロ対策パートナーシップ」についてお話しいただきました。テロは現在世界中で発生しているが、過去に日本で何度も起きており、実は日本はテロ先進国であること、テロの防止には警察だけでなく、普段とは異なることに対する一人ひとりの意識が大切であることがわかりました。

後半は、「災害対策」についてお話しいただきました。日本が災害大国であることを再認識し、日ごろの備えに加えて、危機意識を低下させないことの重要性を改めて確認しました。

東京ヘリポートでは、訓練を通して緊急事態発生時の連絡体制を再確認し、所轄警察署との連携を密にすることで、保安体制の向上を図って参ります。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、関係者一丸となって、より一層ハイジャックやテロ犯罪の防止に努めていきたいと考えています。

最後に、多大なるご協力をいただいた警視庁及び湾岸警察署の皆様、ご参加いただいた東京ヘリポート内事業者の皆様、誠にありがとうございました。

（東京港管理事務所港務課）